

甦れ！ 忘れられた道具たち

山道具に聴く 昔の林業

山仕事の道具からわかる歴史がある。

- 日程 2017年 10月29日(日)、11月26日(日)
2018年 1月28日(日)、2月25日(日) 4回連続講座
- 時間 10:45 ~ 12:30 (受付:10:30 ~)
- 会場 檜原村郷土資料館 1F 研修室
(檜原村 3221 番地)
- 参加費 1,000 円 / 回 (資料代等)
- 対象 西多摩地域の森林・林業に関心をお持ちの方
10名程度
- 講師 羽鳥 孝明氏
(東京の林業家と語る会)

■主催 むかしごと研究会
■協力 檜原村郷土資料館
(NPO) 森づくりフォーラム、田中林業(株)

■後援 檜原村教育委員会・檜原村
■助成 東京緑化推進委員会
このイベントは、「緑の募金」の助成を受けて開催しています。

——いつから鋸は、当たり前のように使われてきたのだろうか？
鋸によって、山作業はどのように変わったのだろうか？

ネキリ（斧）は木を倒すためだけに使われたのだろうか？
ほかにも利用したのだろうか？

そこに転がっている丸太は、何かの役に立ったのだろうか？——

山の道具がどのように使われてきたかウォッチすると、
道具にまつわる「????？」が見えてきます。
道具たちが語る、山の話をお聴きしてみませんか。

10/29

第1回
山仕事の道具 伐採編

ネキリ（斧）・ヨキ（杣ヨキ）・鋸など

11/26

第2回
山仕事の道具 搬出編

トビ・手斧・ナタ・テコ棒など

1/28

第3回
山仕事の道具 買う・造る編

鍛冶屋・金物屋・行商など

2/25

第4回
山仕事の道具 江戸時代の道具編

書物・絵巻物に表れた道具

■交通

JR五日市線「武蔵五日市駅」より西東京バス約30分「郷土資料館」下車
「武蔵五日市駅」10:08 発「藤倉」行きにご乗車ください。
お帰りのバスは、「郷土資料館」12:51 発「武蔵五日市駅」行きとなります。

■申込

氏名、所属（あれば）、連絡先（メールアドレス、電話番号）、参加希望日をご記載の上、
開催日の3日前までにメールにてお申し込みください。

■問合せ先

むかしごと研究会

E-Mail : mukashigo@yahoo.co.jp TEL : 090-7260-4440 (石山)

URL : <http://mukashigo.jimdo.com>

FB : <https://www.facebook.com/mukashigo>

Twitter : <https://twitter.com/mukashigo>



Homepage



Facebook



Twitter